

1 国際交流都市について

笠間市の国際交流都市は、菊祭りが縁で交流が始まったドイツの『ラー市』をはじめ、笠間焼を通じて陶芸分野で交流のある『タイ王国』、消防車両の寄贈をきっかけとして交流のある『エチオピア』、青年海外派遣事業やゴルフを通じて交流のある『台湾』など、地域の活性化や観光の振興、インバウンドにつなげるため国際交流を積極的に進めております。

そして、昨年6月には、『タイ王国』が2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるホスト・タウンに登録され、さらに、本年7月には『エチオピア』がホスト・タウンに追加登録されたところであります。

2 ラー市との交流について

ラー市	位置	ドイツの南部に位置し、フランスやスイスと国境を接している。
	人口	約4万4千人
	菊祭り	平成10年(1998年)から菊祭りを開催。開催時期は毎年10月下旬から11月中旬。ドイツ国内やフランス、スイスから大勢の観光客が訪れる。
ラー市との交流経緯	平成18年11月	ラー市の菊祭り開催10周年を記念し、笠間稲荷神社の菊人形と花を展示の依頼があり、その事がきっかけとなって交流が始まる。
	平成20年11月	ラー市からミュラー市長など5名が笠間市を表敬訪問。笠間の菊まつりを視察。
	平成21年10月	笠間稲荷神社の塙宮司、市村議長、山口市長など10名がラー市を表敬訪問。ラー市の菊祭りを視察。日本の児童の絵画をラー市で展示し、絵画交流が開始。
	平成25年8月	ラー市の園芸課長が笠間市を表敬訪問。笠間稲荷神社において、菊の千輪咲き、菊人形作りの技術研修を受ける。
	平成27年11月	ミュラー市長、市議会議員、市職員など9名が笠間市を表敬訪問。笠間の菊まつり、流鏝馬を見学。
	平成28年10月	塙宮司、藤枝議長、山口市長など5名がラー市を表敬訪問。ラー市の菊祭りを視察。
	平成29年7月	ミュラー市長から2018年ラー市「州庭園ショー」の招待を受ける。
平成29年10月	ラー市園芸課長、菊職人など3名が笠間市を表敬訪問。笠間稲荷神社において、菊の大作りと菊文化の研修を受けるとともに、市役所において、ラー市州庭園ショーの日本庭園の企画説明と友好都市協定に向けての協議を行う。	

3 協定の締結について

- ◆協定期日 2018年5月13日(日本デー)
- ◆協定場所 ラー市 州庭園ショー会場(日本庭園)
- ◆出席者 市長、市議会議員、関係団体等
- ◆協定内容 今後、両市にて協議する

4 今後の活動予定

- ◆菊職人の技術伝達交流
- ◆子ども達の作品交流
- ◆語学やスポーツを通じた交流
- ◆外国人旅行者の誘客等

5 ラー市州庭園ショー

日本庭園	ラー市民運動公園内に135㎡の庭園を設置。庭園を2mの壁で囲み、赤いテーブルと椅子、赤い傘を設置。竹、苔、松、紅葉など緑の庭園。
開催期間	2018年2月オープン、11月まで設置予定。

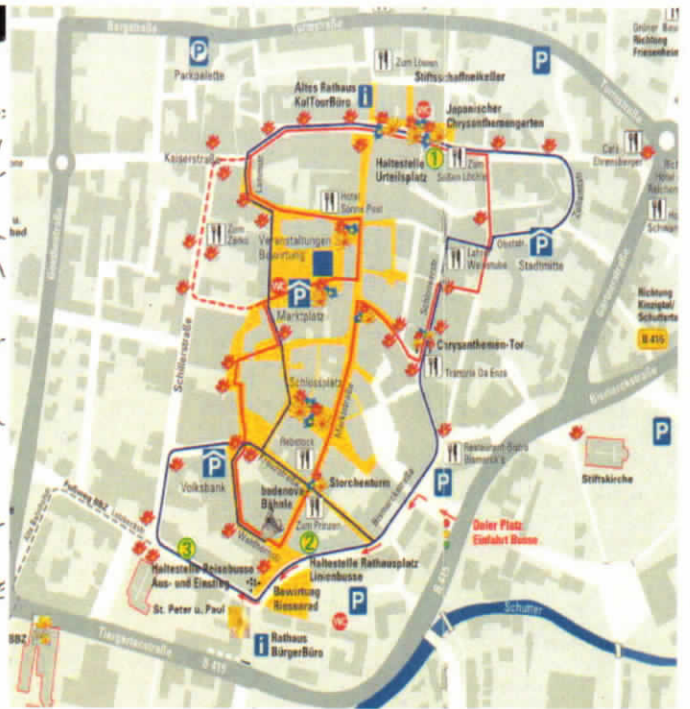
6 スケジュール

- 30年2月 全協報告
- 30年3月 定例会報告
- 30年5月 協定書締結

ドイツ・ラー市の位置図



ラー市の菊祭り見学コース



ラー市州庭園ショー-日本庭園

